



月刊サカタニ友の会ニュース

発行(株)サカタニ  
集西楽・サカタニ  
ファミリーマート  
サカタニ京阪七条店  
〒605-0993 京・  
東山区七条こころ坂下  
・075-561-7974  
URL www.sosake.jp/  
E-mail info@sosake.jp  
編集・酒谷義郎  
yosi rou@sosake.jp

## 馬町被爆之碑

### 建立の動きが

### テレビ放映



9月9日 進み、愈々来年1月16日に序幕  
10日、式を目指せる所までに至った。運  
NHK: 動の当初は元東山小学校(旧名  
TV京 修道)から、京都市立白河総合支  
都放送局と関 援学校東山分校に代わったが、今  
西エリアで、 まで同様に「協力を戴き、碑の建  
京都市東山区 立場所も校門の近くの位置に内諾  
「馬町爆撃語り  
継ぐ会(同名  
検索でホーム  
ページあり)」  
の記念碑建立



「(上の写真の近く) そのことNHK: TVと読売新聞社 の放映と記事になっ た。既に「石碑」 の選定をして取り

の活動が放映された。  
全日本的に京都市は文化都市でア  
メリカは爆撃を避けたとの説が有  
るが実は真つ赤なウソ。原爆投下  
の上位候補都市だったと言つ。実  
際に、東京大空襲は昭和20年3月  
10日・大阪大空襲は昭和20年3月  
15日であるがそれより一ヶ月早く  
馬町が爆撃された。以後、西陣  
太秦御所も爆撃や銃撃をされて  
いる。戦争とは「勝つためには手  
段を選ばないもの。」「馬町の爆撃  
を風化させない記録碑」をつくる  
うと一昨年1月16日に「会」が  
でき、運動が始まった。以後4回  
の「集会」を実施し、資料集めも

40余名爆死された御霊と被爆の苦  
しみを風化させず「戦争といつ人  
間の愚かな行為」を防ぐ意思を表

## 朝粥食べておシャベリ会 報告

第105回定例第3日曜日

9月15日朝9時、  
お話・みどり鍼灸院長  
吉澤拓馬さま

お話は、立命館大学のいい方向に動  
大学卒業後、鍼灸き、味わって止め、  
師免許を得て左京一氣に脱力するの  
区聖護院で「はり」を参加者と一緒  
きゅう院院長をしやり、その効果を  
ながら、この夏か 実体験できた。全  
ら「京都整体同盟」員大喜び!  
として、地域で活 それぞれ自分に合っ  
動をされている方。た動きを自由にす  
「気持ちよく動きる。」「気持ちよく  
ましよう」と気持ち動きましたよ!



1980年昭55生れ  
イケ面講師



す「碑の建立」にご支援をお願い  
したい。  
当日は被爆当時の資料の保存場  
所のお知らせ配布と地域の「伝令員」  
だった方に「被爆直後の詳細なお  
話を戴くようお願いしている。

## 第10回 駅伝ライブ

11月10日(日)  
開場11時・開演11時半

今や定例になった当社最大のイ  
ベントの案内です。十年前ミュー  
シヤンのボランティアで「スマート  
ラ沖大津波支援」で始まったイベ  
ント・出演のミュージシャンもス  
タッフも無報酬の協力で続けてき  
ました。参加協力金500円は若干  
の経費を除き「ユニセフ・ハンド」  
イン・ハンド募金」に充当してい  
ます。  
今年も昨年同様 忘れない! 東日

小学生:すいんぐキッズ



本大震災  
被災者支  
援! 開  
催します。  
当社のス  
ペース。



沖縄音楽  
「なあ」  
その他  
12ユニット参加  
覧ください。

## どんつき

は「スコール」  
と云う。短時間に猛烈な降り  
方をすると子供時代に聞いた  
日本の夏は夕立が良くあつ  
た。「夕立ち三日」と言われ  
雷を伴って三日程続いた。  
夏は今も昔も「暑い」こと  
は代わらないが、日陰に入っ  
た時の暑さの質が違う。  
前は「さらりと」と感じた  
が、今はネチャと纏わり付く  
多分湿度の関係だろう。  
冬、馬町爆撃の日、猛烈に  
寒かった。防火用水桶の水が  
10センチ余の水が張っていた。  
旧京都市内には積雪が久し  
くない。戦後暫くは比叡山に  
人工で無いスキー場があった。  
1952年2月?。七条通りで早  
朝スキーが出来る程雪が積も  
た。近年、殆ど積雪すること  
が無い。  
竜巻・豪雨が再々のこの頃。  
地球温暖化が進んでいる。人  
間はある温度内でしか生きら  
れない。  
祖母がよく言つた言葉に  
「神様は不意打ちをなさらな  
い。必ず前にお知らせなさる」  
がある。  
地球は神の様なもの。地球  
の知らせに気付こう。悲鳴の  
ような豪雨で知らせ。怒りを  
風で知らせている。  
前戦争の教訓に学び、前進  
だけでなく、退却停止も有ると  
心得ないと人類の敗戦が来る。

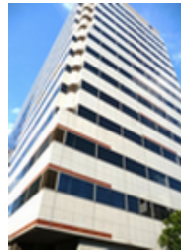
# ヨシイちゃんの ひとりごと



## 運・鈍・根

### 第三話

前回は書きましたように酒  
小売会社「京阪麦酒(株)」を手に入  
れましたが、真くには辞められず  
酒問屋福井善四郎本店京都店の店  
長もしていました。その得意先  
「藤井大丸」さんから「カナダ食  
品特売」を手伝ってと言われ、そ  
のことで大阪「丸紅」を訪問まし  
た。ところが



「主婦連」  
デモ隊に囲  
まれビルに  
入るのに大  
変苦労しました。ヤット入れ商談  
を済まし帰りがけに「デモは何故」  
と問いました。丸紅が統制違反で  
「米」を買ったことへの抗議デモ  
だとの説明を受け「酒合さん、今  
デモをしている人もこの年末は物  
資不足で困りまっせ」とおっしゃ  
る。「そんな阿呆な」と言いま  
すと「今の日本はアラブの安い石  
油で支えられている。今アラブが  
値上げを相談していて結果次第で  
大変なことになる」とのこと  
「さよか?」と答へ帰りました。1  
983年(昭48)五月のことでした。  
当時は酒問屋仕入担当者、醤油  
や酒の発注をしますと、それまで

は「積荷を増やして」が「数量を  
減らして欲しい」に代わりました。  
「アッ!アレが来た」と丸紅での  
話がピンと頭の中を横切ります。  
私の店は「大黒湯」隣の六坪の  
店、現在地は「空家」でしたので  
そこを倉庫にして砂糖、油、醤油  
などの商品を詰め込みました。  
10月末には商品の入手が難しくな  
りました。(第一次石油ショックです)  
得意先に納品の醤油や油を積んだ  
当社の車が「主婦」の方々に囲ま  
れ売って!と言われ困ったことも  
起こりました。酒のお得意さんも  
値上げを認めるから「商品を切ら  
さないで」と申されました。石油  
ショックは収まりましたが値段は  
下げずに販売できませんでした。倉庫は  
商品が売れ場所が空いてきます。



其処へ麦酒「ケ  
ス」を空瓶「貯  
めました。ビー  
ルのケースはプ  
ラスチック「石  
油製品。当時は  
一つ四十円、瓶  
が十円でした。それが翌年ケ  
スが五倍の二百円になりました。  
トラック何台分も値上がり後全部引  
き取ってもらい大儲けしました。

主婦連のデモに感謝です。その年  
末、42歳で酒問屋を退職、父の許  
可を得て1974年10月1日現  
在地で「株サカタ」の発足です。

# 倍返し

石動敏子

高視聴率だった「半沢直樹」  
の倍返しどころか百倍返しによ  
うな18号台風だった。昨今の竜  
巻などもこの国の話だった?  
といふがしい。風速35mなども  
ついぞなかったことだった。十  
年ほど前迄は、学校の防災訓練  
なども、なんとなくのどかで一  
体いつそんなことがあるのか・  
永遠にないだろうと思つてさえ  
いた。警報が出ると臨時休校、  
ということてたまのそうした番  
狂わせも妙に教室を活気づかせ  
ていたほどだった。

それが、昨今の天の怒りはど  
うだろう。「まだわからぬか」  
とのお仕置きは、ついに特別警  
報を打ち出し「この辺は不思議  
と大丈夫」と思っていた洛中洛  
外を打ちのめす大洪水をもたら  
した。災害列島ながらこのの  
国に増税が原発の再稼働がオリ  
ンピックが来るといつ。  
わからない。わかり得ない壁  
がある。多数決とやらで選出さ  
れた者たちの底無しの驕り。そ  
うよね。そんな人たちだけは直  
接戦に行くことも、オスプレ  
イの落ちてきそうな場所に住む  
こともない。口先三寸、まやか  
しの小銭で人を黙らせ、とやか  
く言わず兵士のように従順であ  
れと教化する。例えばのぞみ号  
より速いリニアモーターカーな



ても両者の間は海溝  
のように暗く深い。  
そういう時代に、そういう国  
になつてしまつている。

「戦争を知らない子供たち」  
が60年余生きてもつとも危険な  
賭けにさらされている。次の次  
の世代迄「いつか生まれる君」  
(「花は咲く」より)にも手渡  
したい憲法第九条の戦争放棄の  
心が戦争待望論の壁を越えない  
限り。巨大な防潮堤が今何より  
も先がけて築かれようとしてい  
る北のふるさとである。

## こんな悲しい話がある!

9/11のフェイスブックより

ある河川敷に二人の男女がい  
た一人は車椅子の老婆、そして  
車椅子を押している男性。  
その後この男性は、老婆の首を  
しめて殺害し、自らも包丁で首  
を切り、自殺をはかる。  
男性は通行人に発見され、病院  
に搬送されて助かる。そして、  
裁判の中でこの事件の経緯が明  
らかにされた。  
父親と母親は同居しており  
男性とは別に暮らしていた。  
しかし父親が他界してからは、  
男性と母親は共に暮らすことにな  
った  
しかし父親の死後、高齢の母  
親は、認知症がひどくなり夜中  
などに歩き、警察に保護され  
ることなどが頻繁に起こつた  
そんな母親の介護の中で、男  
性は体を壊し、仕事を失つた。  
今のご時世、中年を越えた人間  
を雇ってくれる会社などそうは  
ない。特に母親の介護があつた  
のでは、まともにも外にもでれな  
い。貯金も尽き二人の生活は厳  
しくなる。男性のカードローン  
も借り入れ度額いっぱいになつ  
ていた。  
しかし国は生活保護を認めな  
かつた。そんな日々の中で、男  
性は母親との心中を決意した。  
そしてある冬の寒い日に、男  
性は母親と市内を観光した。  
のち現場となつた河川敷の向こ  
う押していた車椅子をとめて、  
男性は母親に言った  
「オカン...ゴメン... もう生  
きていけへん」俯き目を赤くし  
ながら立つ男性に母親は言った。  
「そうか...アカンか...あんだ  
はうちの息 子や最後はうちが  
やつたる...」 と言いつつながら、  
男性を強く抱きしめた  
9/11のフェイスブックより  
男性は生き残り養子付の罰を受けた  
経済力豊か、億万長者も多い日本  
で何故こんなこと起こるのか?.



京都&東山  
ぶらりピカリ  
43

東山武田病院跡地に  
高級ホテル

2005年9月京都専売病院の事業を継承していた「東山武田病院」が閉院し解体された。跡地に大成建設の手で「フォーシーズンズホテル京都」建築され、2015年初めに開業と発表されている。

病院敷地内の積翠園は、平安時代末期の治承期に平清盛の長男重盛の山荘庭園「小松邸」として造られ、平家物語にも「小松内府の園池」と伝えられ、江戸時代には妙法院境内の庭園となり、元禄期に改修された。1953年(昭28)日本専売公社(専売局)が妙法院から土地を購入し、京都専売病院を経て、更に東山武田病院となり、今回のホテル計画に至っている。



その頃は(昭28)敗戦から間もない時期、観光などが振り向かれる余裕のない時代、そんな背景も有って「妙法院」から専売公社に譲られたのである。

その場所は修道小学校校隣接地、(写真上が校庭)当時は「結核大流行時代」で専売局が結

核病棟を造るとの話から、病院(写真中央の建物)建設に学区内で反対運動が起こった。当時19歳だった私もその運動のお手伝いをした。

その結果「結核病棟」は造らず「積翠園」は「保存し院外から出入り出来るようにする」との地域協定が結ばれ「専売病院」が設立、その後「東山武田病院」も「協定」を引き継いだ。二年前、私は修道学区に居を移し、東山武田病院閉鎖・ホテル建設説明会にも参加させていた。ただ、気になっていた当時の「地域協定」が引き継がれると聞きホッとした。

ただ、外国資本の最高級ホテルとのことで、「積翠園」が「防犯上」などの理由を付けられてホテル内として囲いこまれる事態が起こりはしないかと気を揉んでいる。

京都市内でも平安時代末期に作庭され現存する庭は数少ない、貴重な遺構であり、このような庭園が病院の専有庭園となつては、観

光都市京都の面目が立たないと思う。私のホテル経営に「古い歴史のある庭園」を「時間制限」以外の制約無く見られる環境で維持と存続をして欲しいと東山区民の一人として願って止まない。

市電が走った  
京都を巡る  
福田静二  
31

加茂大橋を出た市電は、真正面に大文字山を望んで東に向かいます。

車窓には、小さな飲食店などが並び始めます。同志社・立命館の学生エリアから、鴨川を渡って今度は、京都大学のエリアに入ってきたことが、車窓の変化から読み取れます。

二百メートルも走ると、関田町の停留所に着きます。南側には市営住宅が何棟か建っている風景は、市電時代と今も変わりません。「せきでんちよう」と、田を「でん」と読む、湯桶読み地名は、京都では珍しいと思います。

関田町は、この付近の広域地名



清風荘をバックに関田町電停に行く



関田町を上から望むと、何本もの市電が通り過ぎて行つて、こんもりした森が見えます。それが、京都大学が所有する清風荘です。「名勝清風荘庭園」として、京都大学で初めて重要文化財に指定されました。京都大学の迎賓・会議目的の施設となつてい

田中のひとつの町名に過ぎませんが、市電の停留所名として用いられた、当時は知名度がありました。いまの市バスは、加茂大橋(現・出町柳駅前)の次は百万遍で、中間に関田町はなく、ごく当たり前の町名になってしまいました。

停留所付近は、一見して同じような街割りに見えますが、地図を見ると、道路が四方八方に曲がりくねって、鴨川以西の暮盤の目状の街割りとは、違うことが分かります。加茂大橋と関田町の間に、ひときわ曲がりくねつた道がありますが、幕末の地図を見ると、修学院・一乗寺から流れ出た川の跡だったことが分かりました。江戸時代までの京都の計画的な街づくりが、ここまでは及んでいなかったのでしょう。事実、幕末の頃のこの地域は、一面の農地が広がっており、京都の近郊農村としての位置づけだったのでしよう。もと

も田中は、愛宕郡田中村であり、昭和七年に京都市に編入されたのです。関田町の北側、今出川通に沿つ

た、あまり知られていませんが、最近、市民を対象にした一般公開が秋の時期に行われています。清風荘の起源をたどると、享保十七(一七三二)年ごろ、徳大寺家の別邸として建築されました。その後、住友家の所有となり、西園寺家が使用します。京都大学へは、昭和十九年に住友家から寄贈されました。現存する家屋などは西園寺公望の時代に改築したもので、敷地の九割を占める庭園は、小川治兵衛の作庭です。小川治兵衛と言え

ば、平安神宮神苑、円山公園、南禅寺界隈の別邸の作庭も手がけた明治、大正期を代表する作庭家です。建物は、明治四十五年に着工で、建物の造営には西園寺公自身が材料や形式について細かく指示したといっただけあつて落ち着いた気品が漂っています。

これからの季節、紅葉真っ盛りの清風荘は、紅色や黄色の秋の彩りに包まれ、これからの季節、絶妙な庭園美を見せているといつて

# 酒屋で生きて 生かされて



## 第八十三話 酒谷本店開業

我が家は  
代々宇治

市炭山に住み、明治中期、曾祖父(竹次郎)が一家を挙げて京都に引越し、本町16丁目、北斗町住み、一橋校の事務職で63年(大正)没しました。祖父は本町六丁目の酒醬油商「津之與」に勤め、祖母と「社内結婚」後、弟妹の面倒を見ながら、後、主人の仕事(大正末年)を引き継ぎました。

祖先の墓地は今も炭山、小学時代から祖父と共に一度「施餓鬼」と墓参りに行くのです。六地藏、日野、長坂峠を越える山奥の寒村、道々祖父は「義郎は十四代目やから商売を継げ」と良く言っていました。祖父が商売を始めた明治末、大正初年頃は、東山トンネル、七条通拡張、博物館、七条大橋の建設があり、工事飯場に酒などが良く売れたようです。お陰で売上げも増え、借家ですが大きな蔵がある現在地に移転しました。

また、この付近は豊臣秀吉公の「京大仏殿建立と伏見街道 本町通」開設で大きく変り、鞆・塗師屋、棟梁の町名が示すとおり、「子沢山」の職人住居が多く、酒醬油味噌は「おせい」で子供が買いに来ます。祖父はその子たち

にお駄賃のお菓子を上げてました。酒は酒蔵で「桶買い」仕入れ、タンクローリーで運び、店の奥の蔵にある「京細」という酒桶で五本に保存、出荷前に樽の酒を合わせ割水をし上等の酒を「神馬(シンメ)」並酒を「喜賞(キショウ)」のラベルを貼り販売しました。又、昭和初年ころから、親戚知合いに「酒場」開業を薦め八店ができて「神馬」を販売した。今で言う「チェーン展開」です。そのころ「丸津」の屋号を

酒谷本店にしました。当時の酒場は今も、千本中立売の「神馬酒場」と北区新町の「つじい」の二店が営業を続けています。昭和に入つて酒の税金は国家財政の支えになり「政府の統制」が強化され酒類の卸は官製の「販売会社」經由。小売業者も強制的に廃業させられ、税務署は「手持ちの酒の量も管理、自店のラベルでは販売できなくなりました。昭和18年頃までは「配給用」と「国民酒場」用によつ少しは入荷してしまつた方、または、周りにそう思われている方は、ちょっとお話が下手ですね。

## 猫がみた三世界 月三天

九月十六日の台風は、皆さん大丈夫でしたか？以前書いたとおり、私の家はボロ口でして雨風に合わせて雨漏りの合奏でした。さて、今回は三つの時間(過去・現在・未来)について書いてみましょう。皆さん、お話される中でこの三つの時間を使われますね。上手く使っている方は良いのですが、聞いていて「これはくどい」と思ってしまう方もいらつしやいます。最近では、後者の方が多し気がします。例えば、過去の話をされる方はお金と栄光が絡みます。現在の話をされる方は、不平不満を訴えます。未来をお話される方は失望と絶望を唱えます。

どこかに偏りすればかり口に出

酒谷本店にしました。当時の酒場は今も、千本中立売の「神馬酒場」と北区新町の「つじい」の二店が営業を続けています。昭和に入つて酒の税金は国家財政の支えになり「政府の統制」が強化され酒類の卸は官製の「販売会社」經由。小売業者も強制的に廃業させられ、税務署は「手持ちの酒の量も管理、自店のラベルでは販売できなくなりました。昭和18年頃までは「配給用」と「国民酒場」用によつ少しは入荷してしまつた方、または、周りにそう思われている方は、ちょっとお話が下手ですね。

「じゃあ、あなたはどなんだ？」  
そうですね、ハッキリ言つて過去は後悔してしまいますし、現在は過去を教訓に「もつと頑張りなば」の一言に限りませう。未来は今自らが地道に積み上げていかなければ崩れてしまつてもいいかもしれません。

ましよう。思考と心を占めているモノがよくわかります。「人は鏡」類は友」と言いますが、まずは心、次に思考、多くを引き寄せるは言葉です。そのなかでも、ソーシャルネットワークではなく、実際に対面する人こそがパロメーターになっているのです。皆さんは最近、どんな方々と対面合われますか？

過去は学ぶ土台、現在は経験をする場所、未来は経験を活かして希望を繋ぐ時、どんな生き物であろうと、ほんの一瞬に全てを持って過してしまいます。詰まる話は、自りにそぐう立ち位置で時を過ごし、周りを見て発言していかなければ、世の中上手く回りませんねというこ

しましたが、その後は軍隊用にまわされ「冠婚葬祭」の臨時分しか入荷もありません。我が家は昭和16年に隣家を買ひ、店を新築し、そこに祖母が主の「国民酒場」を開業しました。

父は、昭和17年兵隊になったが19年病気で兵役免除になり、重曹品調達会社に勤務、その頃から物資不足で商売は開店休業でした。昭和5年(昭和20)祖父が亡くなりました。酒は入手出来ず休業状態が翌年まで続いたように思っています。

ましよう。思考と心を占めているモノがよくわかります。「人は鏡」類は友」と言いますが、まずは心、次に思考、多くを引き寄せるは言葉です。そのなかでも、ソーシャルネットワークではなく、実際に対面する人こそがパロメーターになっているのです。皆さんは最近、どんな方々と対面合われますか？

過去は学ぶ土台、現在は経験を活かして希望を繋ぐ時、どんな生き物であろうと、ほんの一瞬に全てを持って過してしまいます。詰まる話は、自りにそぐう立ち位置で時を過ごし、周りを見て発言していかなければ、世の中上手く回りませんねというこ



## 編集後記

今月号のとんからりんは制作が大苦戦した。寒さは強いが暑さに弱い編集者は夏が苦手。それなのに作成する部屋は空調が無い。扇風機を回し、上半身裸姿で作業をするのもある。

空調を入れたら家の者に言われるがただ一人のためにもつたいたいと思つ、増して地球温暖化時代だ。自毛モーターはビンプのイカ所だけ、それも殆ど使わない。扇風機

の風で辛抱している。それはどう置き、そこへとんからりんは何やの質問がフエースタック友達がきました。若い人は「存知ないのです。友の会全員さんは、高齢者も多く戦争協力のためつられた隣組からだと「存知」と思ひ説明抜きでした。もつ60年以上前の歌。知らない方があつて当たり前、知つてい

る方が少数派になつていたので。今や個人主義、一辺倒、団結の言葉も死語、労働組合もハババ。フランク企業の大下です。動物魚類でも弱者は固まって生きています。集団の力で強者を押しやる知恵です。強者は、団結されるや困るのです。人類は族として固まり今に至ります。助けられたり助けたりしながら楽しく、がとんからりんの願いだ